

令和5年度 シュウエール鹿島田 自己評価表

記入 年月日:令和 6年 3月 5日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	5	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	11	5	0	送迎で多くの職員が出ている時に不足を感じることはあるが、教室に残っている職員が配置を工夫することで問題は起きていない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	7	5	現時点でバリアフリーを必要とする児童はいない。各部屋の扉に段差がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	4	2	PDCAサイクルの理解を深められるよう話し合いの場を多く設けていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	5	1	イベント活動等の取り組みはできたが、SST取り組む時間が少なかった。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	10	3	前年から公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	6	3	施設としての疑問は川崎市に問い合わせをし、適切な対応を行えるよう確認しながら進めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	4	2	施設内研修を月に2.3回実施している。今後社外研修の行く時間が設けられるようにしたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	3	0	集団生活や時間の縛りの中で保護者の考えにより、近いものを保護者と相談しながら支援計画の作成にあたっている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	7	2	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	6	1	一部行われている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	5	1	新しい教材や取り組みを増やす努力を行い、積み重ねの体験と共に豊かな経験が送れるよう試行錯誤している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	9	1	保護者と相談している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	5	2	2 集団活動のイベントを増やすことを検討。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	3	0	0 非常勤の職員はミーティングに参加していない日もある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	2	0	0 同上。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	4	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	13	2	1	
関係機関や保護者との連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	8	1	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	4	2	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10	4	2	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	7	4	4 医療的ケアが必要な児童の利用なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	7	3	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	9	2	2 前例はないが、実施を検討する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	8	2	

携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	5	7	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	7	5	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	5	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	9	3	現時点で希望者なし。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	7	1	時間をかけて重要事項などの読み合わせを行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	6	0	必要な時は施設内・外を問わず相談業務を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	7	7	個別面談で対応している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	4	0	内容を吟味した上、必要なものについては周知している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	8	0	年度末に一年間の写真等を配布。
	35	個人情報に十分注意しているか	15	1	0	細心の注意を払っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	6	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	7	6	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	5	1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	3	0	非常食や非常用水は一定量の備えをしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	4	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12	4	0	個別支援計画の中に一文を入れており、保護者には面談時に内容の説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	7	0	アレルギー対応児童は詳しい内容を面談時に聞き取りをし、一覧表を作成している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	5	0	ヒヤリ等が生じた場合や児童の様子で共有が必要な時は会議や夕方の振り返りの時間で行っている。